

# 第九たいむず



No. 14 2009. 9.10

● 新型インフルエンザの流行ピーク予想は、  
10月上旬。手洗い・うがいの徹底を！

通刊856 担当 あきら

ホームページ: [www.takasaki9.com](http://www.takasaki9.com) メールアドレス: [takasaki9@myad.jp](mailto:takasaki9@myad.jp)

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 080-5474-2673 (事務局長 中村)

## ◆軽井沢合宿へ行こう！！申込受付中 団員の声と気持ちを合わせる練習です。

日時: 11月14日(土)13:30~15日(日)16:00まで 濃密な練習スケジュールです。

場所: 武蔵野音楽大学 軽井沢研修所(申込用紙に地図有り)

参加費: 8,000円 一泊二日3食付 申込用紙に記入の上、参加費を添えてお申込下さい。

締切: 10月8日(木)まで。※それ以降のキャンセルについては原則として返金不可。

内容: パート練習(本番前の最後のパート練習です) + 全体合わせ、2日目朝は講義があります。

目標: 暗譜！！(合宿の最後に暗譜での全曲フル演奏があります) 合宿以降、原則暗譜)

交通: 自家用車、電車など(楽しい合宿、なるべく乗り合わせで！相乗り希望も受付中。)

注意: 防寒対策(朝晩は冷えます。早朝の高原を散歩される方は必須。)



昨年の様子。

- ・音楽大学ゆえの整った練習設備
  - ・晩秋~初冬の軽井沢のおいしい空気+紅葉の高原+浅間の白煙
  - ・夕食と懇親会と自由時間(入浴・歓談・海外公演報告などなど)
  - ・新しい交流(普段はあまり話せない人たちと交流できるチャンスです)
  - ・たくさんの差し入れ(^o^)(お一人1品程度でお願いします☆)
- ※研修所と言えど、宿泊施設です。予約を早めに行いますのでご協力を。

## ◆チケット・チラシ・ポスター配布<チケットは買い取ってはいけません！>

ポスター、チラシ、チケットが出来上がりました。チケットが12枚あるか、必ず確認してください。

チケットは、一般3500円、高校生以下2500円です。団では常に販売状況をつかんでいたいので、1枚でも売れたら次の木曜日に精算してください。お客様に販売する際「立て替えて後日回収」はかまいませんが、「販売しないで買取り」は絶対にしないでください。(押売もだめですよ。)

チケット販売は、この団が36年続けてこられた原動力です。絶やすことなく、しかし無理せず、3万枚のチラシを配って1500名のお客様に来ていただく、チラシ配布だけでも来年につながります。

お座席の「指定」について、チラシ裏面で申し込むことができます。場所は指定できませんが、確実にお座席を確保(確保席)します。お客様はチケット購入後でも、確保席だけ申し込めます。お申込された方に、「確保席の番号と座席図」が郵送されます。演奏会当日、案内係がお座席までご案内します。お申込はホームページ又はFAX、木曜でよろしければ受付の中村・小野里まで。

※この制度は当団で考案し、群馬オペラ協会・伊勢崎第九を歌う会などの演奏会で、採用されています。

## コンサート情報・行事情報

受付のチラシも是非お持ち下さい！

### ☆第二回中之条ビエンナーレ2009 美術+故郷+温泉 ←ソプラノ桑原かよさんが実行委員です！

2009年8月22日(土)~9月23日(水) 9:30~17:00木曜定休/入場無料 (ワークショップ有)

中之条ビエンナーレ公式HP <http://nakanojo-biennale.com>

### ☆サロンコンサート「ドイツ歌曲とケーキの甘い関係」

2009年9月19日(土) 19:00開演 岩宿博物館 入場料2,000円(入館料、飲み物含む)

シューベルト、シューマン、ブラームス作曲のドイツ歌曲の代表作と、ケーキとコーヒーを楽しめます。

坂本真由美(S)、田村稔(T)、住谷伴(B)、田村聡子(P、田村先生の奥様です。) 第九のHPからリンク中。

### ☆第4回群馬オペラ協会公演 オペラ「カルメン」 小林薫子さん、太田さん、関口さんが合唱で出演

2009年9月27日(日) 13:30開演 ベイシア文化ホール(群馬県民会館)大ホール

大人自由席5,000円、高校生以下自由席2,000円、座席予約券1,000円

### ☆オペラ「蝶々夫人」10/9、11 東京文化ホール 蝶々夫人:大山亜紀子 チケットは洋子先生まで

## ◆スロヴェニア公演 ソリスト紹介④ 2009年10月28日(水)20時開演



### バリトン:平野和(Yasushi Hirano)

1977年東京都生まれ。1996年日本大学芸術学部入学、声楽を末芳枝に師事。大学在学中から多くのオペラに出演し、「フィガロの結婚」タイトルロール、「コシファン・トゥッテ」のドン・アルフォンゾ、ストラヴィンスキー作曲「夜鳴き鶯」の皇帝など数々の舞台上で活躍。

2000年同大学を首席で卒業、卒業時に学部長賞受賞、また第70回読売新人演奏会に出演。同年オーストリア・ウィーン国立音楽大学声楽科へ入学し、声楽をロートラウト・ハンスマンに師事。2003年同大学声楽科終了後、同大学大学院リート・オラトリオ科、オペラ科へ入学。リート・オラトリオ解釈をチャールズ・スペンサー、ロベルト・ホルに師事、エリー・アーメリング、ヴォルフラム・リーガー、ルドルフ・ヤンセンのマイスタークラス受講、またオペラ解釈をミヒャエル・テンメ、レオ・プレットナーに師事。2007年オペラ科を首席で卒業。2003年オーストリア共和国奨学生。

オペラではバロックから現代にいたるまで広範囲をレパートリーとし、ペルゴレージ作曲「奥様女中」のウベルト、「フィガロの結婚」のアントニオ、「リゴレット」のスパラフチーレ、オルフ作曲「賢い女」の浮浪者などを好演。2003年には韓国・統営で行われた伊伊桑国際音楽祭に参加、同作曲家の歌劇「蝶々の未亡人」の老召使役で出演。2004年ドイツ・ラインスベルク室内歌劇場国際コンクールで入賞、同オペラ主催の夏の音楽祭で世界的演出家ハリー・クプファー演出の企画に抜擢される(ヘンデル作曲「オットーネ」、エミレーノ役)。また、2006年夏には世界最高峰のザルツブルグ音楽祭(ヘンツェ作曲「午後の曳航」、ゲルト・アルブレヒト指揮)、ブレゲンツ音楽祭(オッフエンバッハ作曲、喜歌劇「青ひげ」)にソリストとして相次いで出演。

2005年国際アダ・サリ声楽コンクール(ポーランド・ノヴィサッチ市)2位(男声最高位)、ならびにクラックフ国立歌劇場特別賞を受賞し、2006年2月同劇場に「ラ・ボエーム」コリーネ役として招待される。

コンサート歌手としてもバッハ、モーツァルト、シューベルトなどのミサ・カンタータ・オラトリオのソリストを数多く務め、ロンベルク作曲「鐘」(シラー作詞)、ヘルツォーゲンベルク作曲「キリストの誕生」、ヴンダラー作曲「四季」、カイザー・レオポルト作曲のミサ曲など、無名の作品の再演にも度々参加。2006年4月にはブルーノ・ヴァイル指揮の下、ベオグラードフィルと共演(モーツァルト「戴冠ミサ曲」バス・ソリスト)。2009年1月にはウィーン楽友協会大ホールでベートーヴェン作曲第9交響曲のソリストとして、オーストリア、トーンクンストラオーケストラと共演。リート歌手としても2004年4月ウィーン・コンツェルトハウスで行われた「ドボルザークのタベ」、2007年5月同ホールでの「シューベルトのタベ」の出演をはじめ、オーストリア各地、ドイツ、イタリア、オランダ、ポーランド、チェコ、日本など幅広いコンサート活動をしている。

2007/08シーズンよりオーストリア・グラーツ歌劇場と専属歌手として契約。「魔弾の射手」の隠者として、センセーショナルなデビューを飾る。他には同オペラの森林保安官クーノ、「仮面舞踏会」のサムエル、「ヴォツェック」の徒弟職人などを好演。2008/09シーズンからは、ウィーン・フォルクスオーパーと専属歌手として契約。「トスカ」の看守、「ラ・ボエーム」のコリーネ、「カルメン」のスニガなどで出演。

また2008年7月には、グラーツで行われるフェスティヴァル・Styriartelにて、ニコラウス・アーノンクール演出・指揮の公演「イドメネオ」に海神の声として出演し、絶賛を浴びる。

今後は2010年5月、新国立劇場での新演出企画「影のない女」(若杉弘指揮)の冥界の使者で日本デビュー、またウィーン・フォルクスオーパーでの新演出企画「リゴレット」にスパラフチーレで出演予定。

## 草津音楽祭 コンサート編(その2)

### 【ソプラノ 小林薫子】

3日目は最初の予定では、午前、午後、夜と3回の練習の予定でしたが、午前練習を13時までと延ばし、午後の練習はなくなり、夜はコンサートホールでオケ合わせがありました。初めの方にも書きましたが、今回は合唱とソリストと一緒に歌う部分が少ないため、最初は合唱とソリストと一緒に歌う部分のある、キリエの練習をし、その後は合唱のみの曲の練習になりました。ソリストの方たちは合唱団の練習が終わった後に、ソロのみの曲を練習されていましたが、いい機会なので私も客席で聴講していました。舞台上に立っていると歌っている時の表情などが見られないので、とても勉強になりました。

そして、コンサート当日は、練習は13時からのゲネプロのみで、いよいよ本番を迎えることとなりました。ソリストの美しい歌声と、曲の美しいメロディーにとっても感動しました。コンサートは全席完売だったので座席は満員でした。そして、何と今回はアンコールもあり、曲は最後のベネディクトゥスを演奏しましたが、大盛況のうちにコンサートは終演しました。今年は、大学の友達や大学の先生、その他たくさんの知り合いの方が見えていたのでとても嬉しくなりました。私は、毎年(今年も含めて)コンサートが終わるとそのまま家に帰りますが、それだと何となくむなしなので、来年からはコンサートの日も草津のペンションに泊まろうと思います。(つづく)